第7号
PIWU
2013年3月8日
郵政産業ユニオン
TOKYO・NEWS

● 発　　行 ●
郵政産業労働者ユニオン
東京地方本部
発行責任者　　鵜島　一広
〒104－0031
中央区京橋3-6-3
京橋通郵便局 5F

ストライキ権・高率で確立

会社は要求に応えよ！

１３春闘は本番を迎えました。２月２１日、郵政産業ユニオン本部は、賃金引き上げなど春闘要求書を会社に提出。東京地本も３５項目の要求を支社に提出しました。要求実現に向けたストライキ批准投票は、７９・３３％の高率で批准し、ストライキを背景に交渉を展開します。

世論と運動で政府・大企業を包囲しよう！

大企業は２６７兆円もの内部留保をため込み、その一部を取り崩すだけで労働者の賃上げと安定した雇用の拡大は可能です。この論調は最近のマスコミも言い始めたこともあってか安倍首相は、経営者に賃上げ（ボーナス）を要請しました。

本気で賃上げを言うのであれば、まず、国家公務員の賃下げを止めるべきです。そして、国が１００％の株を保有する日本郵政に賃上げを要請すべきです。日本郵政は株主である政府の意向を尊重し賃上げを行うべきです。形式的な要請に終わらせることなく、この春闘を多くの仲間と団結して政府・財界を包囲しましょう。

ゆずれません！要求はどれも切実です

１３春闘での私たちの中心的な要求課題は①賃金引き上げと各種手当ての増額。②正社員登用と均等待遇の実現。③大幅増員。④民営化の抜本見直しです。

社会保険料の値上げなど出費がかさむ一方で２年連続の一時金カットは私たちの生活設計を大きく狂わせました。非正規社員を多く抱える郵政職場で、年収２００万円以下の非正規社員の割合は６割にもなります。また、人件費削減で必要人員が不足し休憩・休息も働き、タダ働きで業務が維持されているなかで、どの要求も切実でゆずれません。

ＪＰ労組今年も賃上げのぞまず

郵政グループ連結の業績見通しは当期純利益４６００億円となっており、賃金要求に応える原資は十分あります。ＪＰ労組が５年間ベースアップを求めないなか、社員の生活実態から賃上げ要求は当然です。たたかってこそ労働組合です。一緒に行動しましょう。